



2025年3月 末長こぐま保育園 いちご組担任

暖かい日と寒い日を繰り返して、少しずつ春が近づいてきています。早いもので、今年度ももうすぐ終わりを迎えようとしています。一年間を振り返ると、かわいいいちご組の子どもたちの成長を感じます。登園時にお家の方と離れる時泣いていた子どもたちが、今では笑顔で登園してくれるようになりました。保護者の方が「いっぱい遊んでね」「楽しく過ごしてね」と毎日送り出してくださったこと、保護者の方々のたくさんのご理解とご協力に心から感謝しています。本当にありがとうございました。3月下旬には、一足早くばなな組の保育室で生活するようになります。詳細は後日お伝えしますが、送り迎えの支度の変更点など、再度確認をよろしくお願いいたします。



一年間ありがとうございました！

「こんなことが出来るようになった！」と日々成長する子どもたちの姿を毎日楽しみにしていました。たくさん歌って動いてと一緒に遊んだこの一年はとっても幸せでした！

至らない点も多々あったと思いますが、無事過ごせたのも保護者の皆様のご理解とご協力あってのことだと感謝しています。残りわずかですが、子どもたちと一緒に過ごせる時間を大切にしたいと思っています。ありがとうございました。

日影館

半年の短い期間ではありましたが、子どもたちと保護者の皆様に、温かく受け入れていただき、心から感謝しております。この半年、子どもたちの成長に驚きと嬉しさを感じながら日々過ごしております。たくさんの笑顔を見せてくれて仕草や単語で思いを伝えてくれるようになってきた子どもたちと、最後まで楽しく過ごしたいと思っています。本当にありがとうございました。

椎本

## ♪いちごNow①♪



自分で「できること」が増えていき、目に見えるものに対して何にでも興味を持っているいちご組さん。そして、いちご保育室では、日々「できるかな？」と挑戦している姿が見られます。棚の中をくぐる、段ボールの箱を3つ積み重ねる、テーブルの上に立つ、棚の上によじ登る！

毎日、どうやったら登れるか？落ちないか？バランスを取るには？と大人になると何気なくやっている動きでも、いちご組の子どもたちは頭をフル回転させて楽しんでいます。

テーブルの上へのぼることは危険な行為ではありますが、“はいはい”の頃よりも視野がグンと広がり、新しく見えるものに対して「ワクワク」する気持ちを持ち、「自分でやってみたい！」と思っています。そもそも、テーブルの上へのぼる行為を悪いことと理解していません。

とっさに「ダメ！」声を出したくなりますが、気を紛らわせながら、他の遊びに誘っています。自分でやりたい気持ちを認め関わるのが大切です。

最近は、ラッコ（仰向けハイハイ）、山登り（保育者の体を登る）、ジャンプなどの運動遊びを通して、新しい動きが出来るようになり、繰り返し楽しんでいます。



## ♪いちごNOW②♪

最近は、おもちゃの取り合いが多くなりました。「か～し～て！」や「どうぞ」などを言葉や仕草で伝えようとする姿も見えてきましたが、そう上手くはいきません。他の子が持っているおもちゃに触れてみようとする・興味を持つというのは 他人への興味が湧き始めた証拠 とも言われています。そこからおもちゃの取り合いになってしまいますが、今はその時期です。

たまに、「どうぞ」と譲ってくれるお友だちもいて、その嬉しいやり取りが、これから少しずつ増えていくと思いますが、貸し借りのやり取りを大人がやらせるのではなく、「遊びたい！」意思表示を認めて、満足するまでおもちゃで遊ぶ空間と時間を作ってあげることも大切です。